



2022年11月8日

各 位

会社名 日本電波工業株式会社
代表者名 代表取締役執行役員社長 加藤啓美
(コード番号 6779 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 竹内謙
(TEL. 03-5453-6711)

Vision2030の更新に関するお知らせ

当社は、2022年3月10日付け「中期経営計画策定に関するお知らせ」にて、2023年3月期を初年度とする中期経営計画とともに中長期的に向かうべき方向性を明確にすることを目的とした長期経営戦略-Vision2030-を公表致しました。今般、2030年に向けてデジタル社会の発展に貢献するNDKグループのビジョンを「周波数でデジタル社会の未来を創る」と定め、「社会価値」「経済価値」「人材価値」という“3つの価値”をバランス良く追求することによりこれを具現化することに致しましたので、お知らせ致します。

記

1. Vision2030「周波数でデジタル社会の未来を創る」

NDKグループは、正確で安定した振動を発生させる“水晶”の特性を利用し、これまで周波数の制御と選択、検出を司る水晶デバイスメーカーとして、様々な使用環境において精度の高い安定した“周波数”を作り出してまいりました。NDKグループは、これからも2030年に向け、安定した通信環境の維持に貢献する最適なデバイスを利用してデジタル社会の未来を創ってまいります。

2. NDKグループが追求する“3つの価値”

① 社会価値

持続可能な繁栄と平和を実現するデジタル技術を支える

② 経済価値

新規領域を探索し、6Gのトップランナーへ
売上1000億円、営業利益率20%を目指す

③ 人材価値

世界と未来に革新をもたらす人材を育成する
詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

Vision2030

周波数でデジタル社会の未来を創る

Vision2030

周波数でデジタル社会の未来を創る

社会価値

持続可能な
繁栄と平和を実現する
デジタル技術を支える

経済価値

新規領域を探索し
6Gのトップランナーへ
売上高1000億円
営業利益率20%

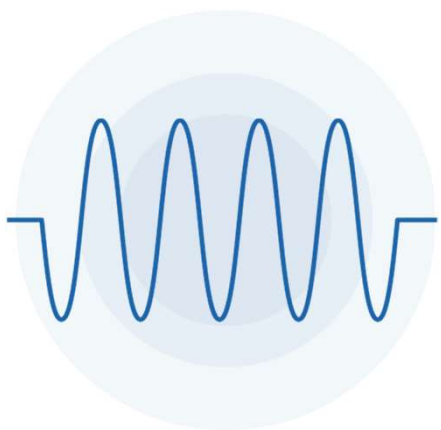
人材価値

世界と未来に
革新をもたらす
人材の育成

創業理念

お客様への奉仕を通じて、社会の繁栄、世界の平和に貢献する

周波数とは - 社会における“周波数”の役割とは -



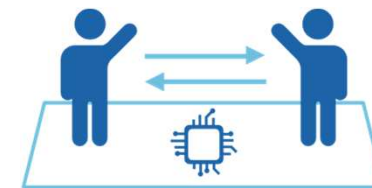
正確な電波で通信を、 つなぐ

安定した周波数が維持されることで、スマートフォンや無線通信（Wi-Fi等）ナビゲーション（GNSS）の通信を可能に



電子機器を正しく動かすため、 指揮する

スマートフォン・パソコン等の電子機器内/間での正確なデータ通信を行うために、送り手・受け手のタイミングを統一



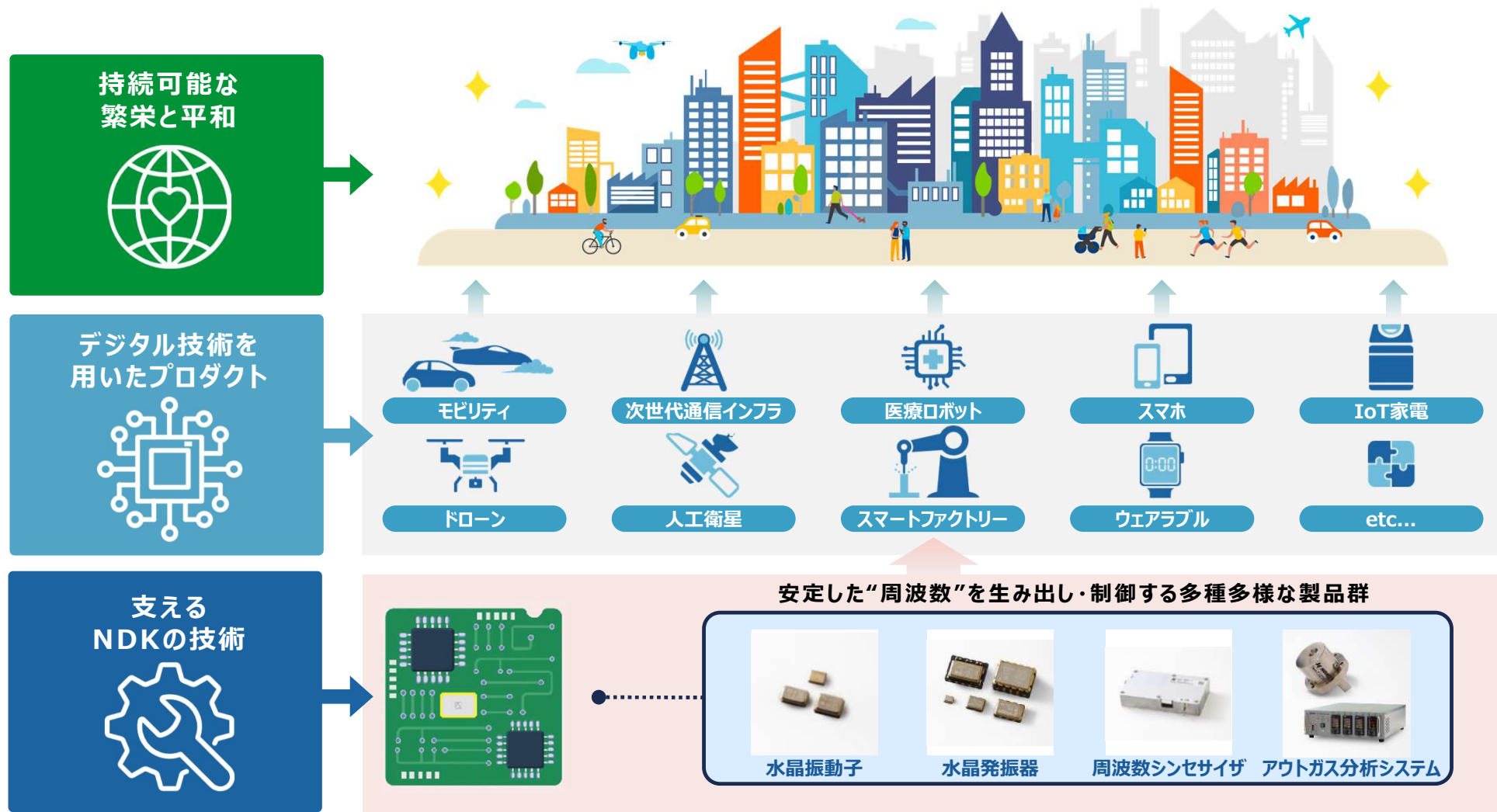
精度の高さ・安定性により、 はかる

あらゆるもの（ナノグラムレベルの質量・ppmレベル誤差での距離・画像）を検知



持続可能な繁栄と平和を実現する デジタル技術を支える

持続可能な繁栄と平和を実現するデジタル技術を支えるNDK





E 環境

2050年カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを加速

Scope1・2

- 省エネ化による消費電力効率の向上 **電力を減らす**
- 再エネ由来の電力調達を通じたエネルギーのグリーン化 **電力をグリーン化**

Scope3

- サプライチェーン全体のGHG排出量が見える化
- 気候変動のリスク・機会とその対応が見える化

※Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出 Scope2：電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3：Scope1・2以外の間接排出



S/G 社会/ガバナンス

社会の公器として、社会的責任と持続的成長を両立させるために、 社内の基盤整備及びガバナンスに関するこれまでの取り組みを一層強化

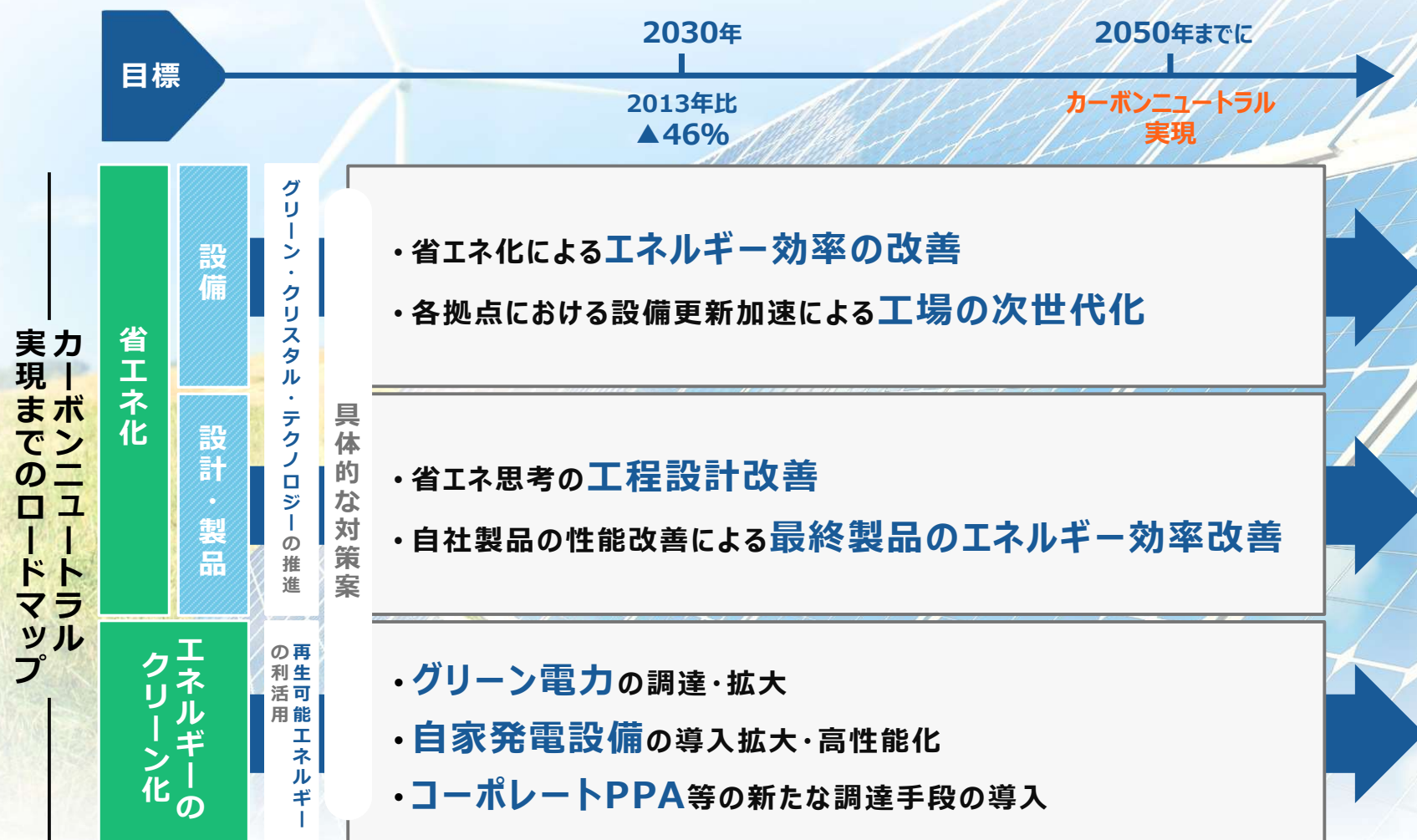
Society

- 従業員が生き生きと働くことができる労働安全衛生への取組維持強化
- 環境保全や人権などの社会的責任に配慮したサプライチェーンCSRの継続的強化
- 社会動向を見越した人事戦略の検討
- 女性管理職比率の向上、女性役員の実現

Governance

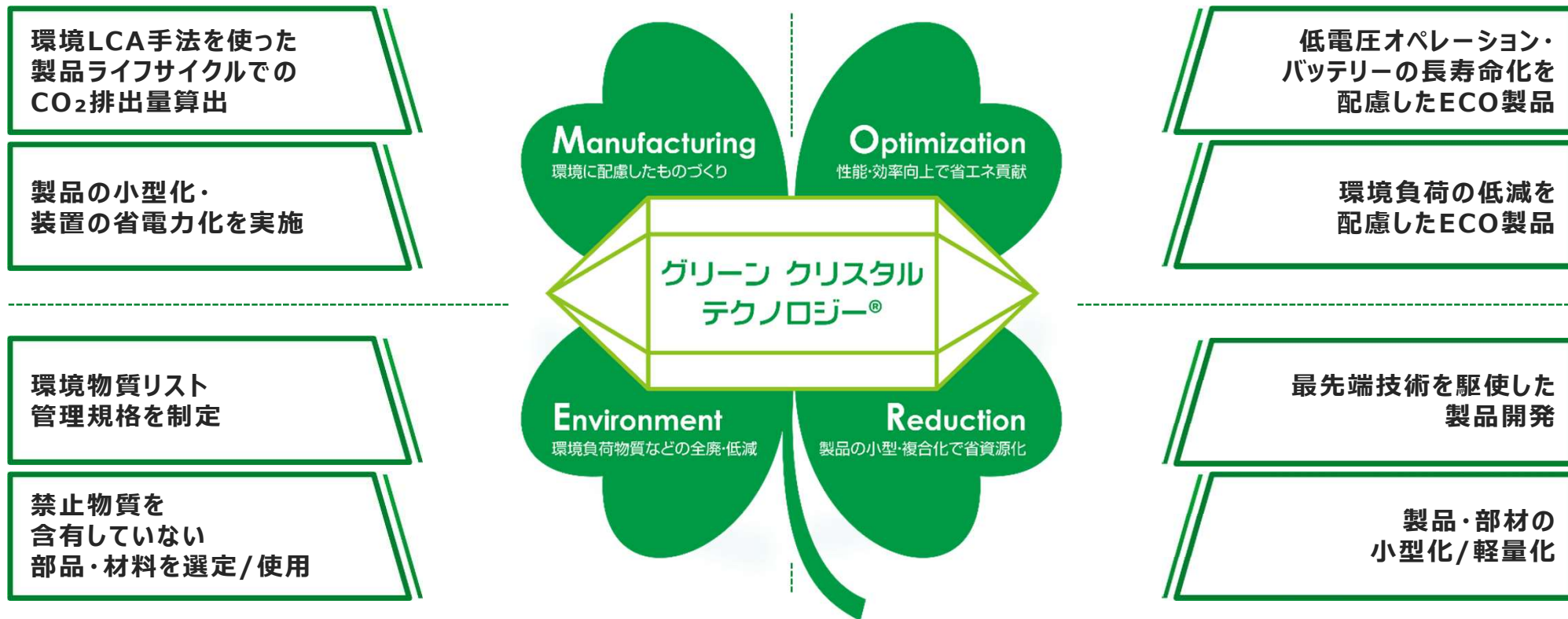
- 企業価値向上に資する取締役会/取締役の在り方検討
- リスク管理体制強化
- サステナビリティ課題に向けた対応強化

カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ



カーボンニュートラル
実現までのロードマップ

グリーン・クリスタル・テクノロジーのコンセプト



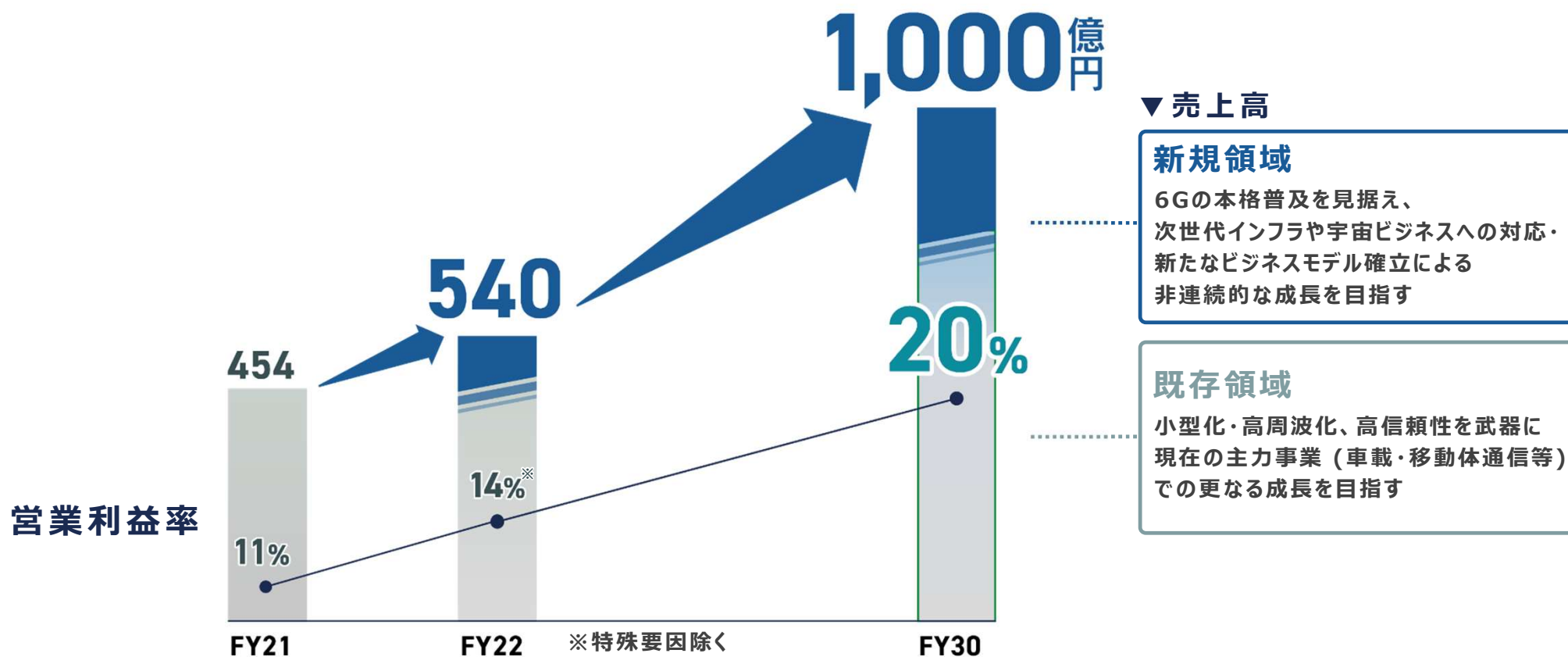
これまでの取り組みを加速させVision2030に向けて前進

新規領域を探索し 6Gのトップランナーへ

Vision2030 経営目標



デジタル社会の発展に伴う既存領域の成長に加え、新規領域開拓を行い、売上高1,000億円を目指す
高収益体質の維持、付加価値の高い事業展開を行い、営業利益率20%を目指す



Vision2030に向けたビジネスチャンスと技術展開



通信規格の高度化(5Gから6Gへ)



IoT社会の更なる拡大・進化
(無線通信需要/用途の飛躍的増加/拡大)

無数のビジネスチャンスを創出

「深化」領域

「探索」領域

車載

移動体・端末デバイス

6G・次世代インフラ機器

宇宙

- 自動運転、V2Xの本格普及
- クルマの電子化の更なる進展

- 6G対応の高周波通信の普及
- 産業装置から身近なモノまで全てがIoT化

- ネットワーク構成の大幅な変化に伴う機器の進化

- 商用化の広がりに伴うミドルグレードニーズの高まり
- 宇宙基地局の実現・普及

モジュール・システムビジネス / 探索領域の事業実現に必要なコアコンピタンスの獲得

高周波
対応

製品
小型化

高信頼性

小ロット
対応

超高精度

周波数
コントロール

NDKが提供する価値 根源となる技術

NDKのコアコンピタンスと事業展開



事業展開

一貫生産による技術の蓄積により
業界でのポジションを確立



小型先端製品で
業界をリード

車載市場における
圧倒的信頼

新たなビジネスモデルへの挑戦は
道半ば、技術は着実に蓄積



モジュール/システム
ビジネスの展開

NDKが 提供する価値



NDKが 保有する コアコンピタンス



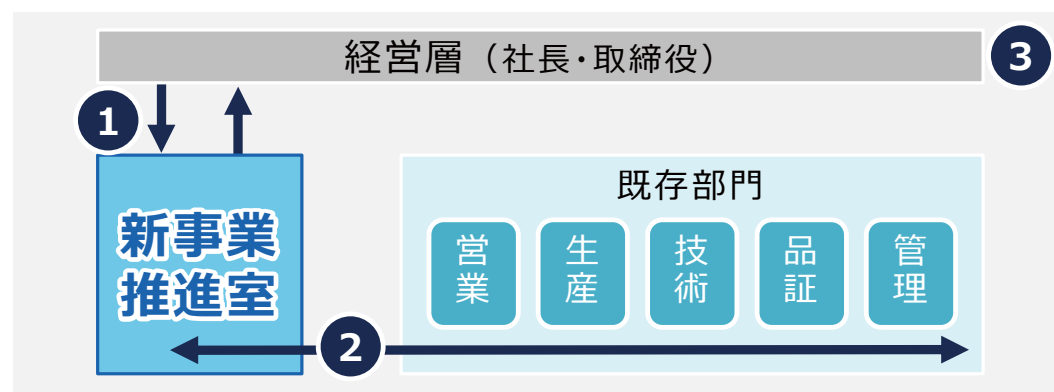
新事業推進室のミッション

2030年の経営目標達成に不可欠な、新規事業の探索・新たなビジネスモデルの創出に向けた戦略の具体化（ターゲット領域の選定・テーマアップ^o・事業構想策定等）・事業推進機能を担う

ミッション達成のための役割・機能

- 社内外起因の新事業に関するニーズ・シーズの抽出・取りまとめ
- 既存事業を超えた顧客企業との協業推進
- オープンイノベーション等の社外連携の推進（研究機関やベンチャー企業等）
- 必要に応じたM&A等資本提携の可能性模索・検討

新事業推進室の位置づけ・運用方針



- ① 経営層直下で実効性のある経営判断を実行
- ② 既存機能部門も検討グループへの参画・知見共有
- ③ 挑戦が評価される仕組みの制定・企業風土の醸成

ポスト5Gを見据えた取り組み



ポスト5Gでは2030年から開始を見込むBeyond-5Gを念頭に
5Gの超低遅延、多数同時接続などの機能を強化する



自動運転や製造業のスマート化、産業用IoT等多様な用途への活用が期待される

NDKは経済産業省・NEDO^{*1}の委託事業^{*2}に参画

ポスト5Gにおいて重要性が増す「時刻同期技術」についての研究開発を、
情報通信研究機構、東京大学、東北大学、広島大学とともに推進中



- 当社は**デジタル制御水晶発振器を開発**し、2022年度に情報通信研究機構と共同で**時刻同期無線通信の装置化**を実施中
- **2026年の実用化**へ向け、**同装置を用いた無線接続の実験・検証**を進める計画

*1：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の略称

*2：経済産業省・NEDOの「ポスト5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業 / 先導研究 (委託)」
委託事業

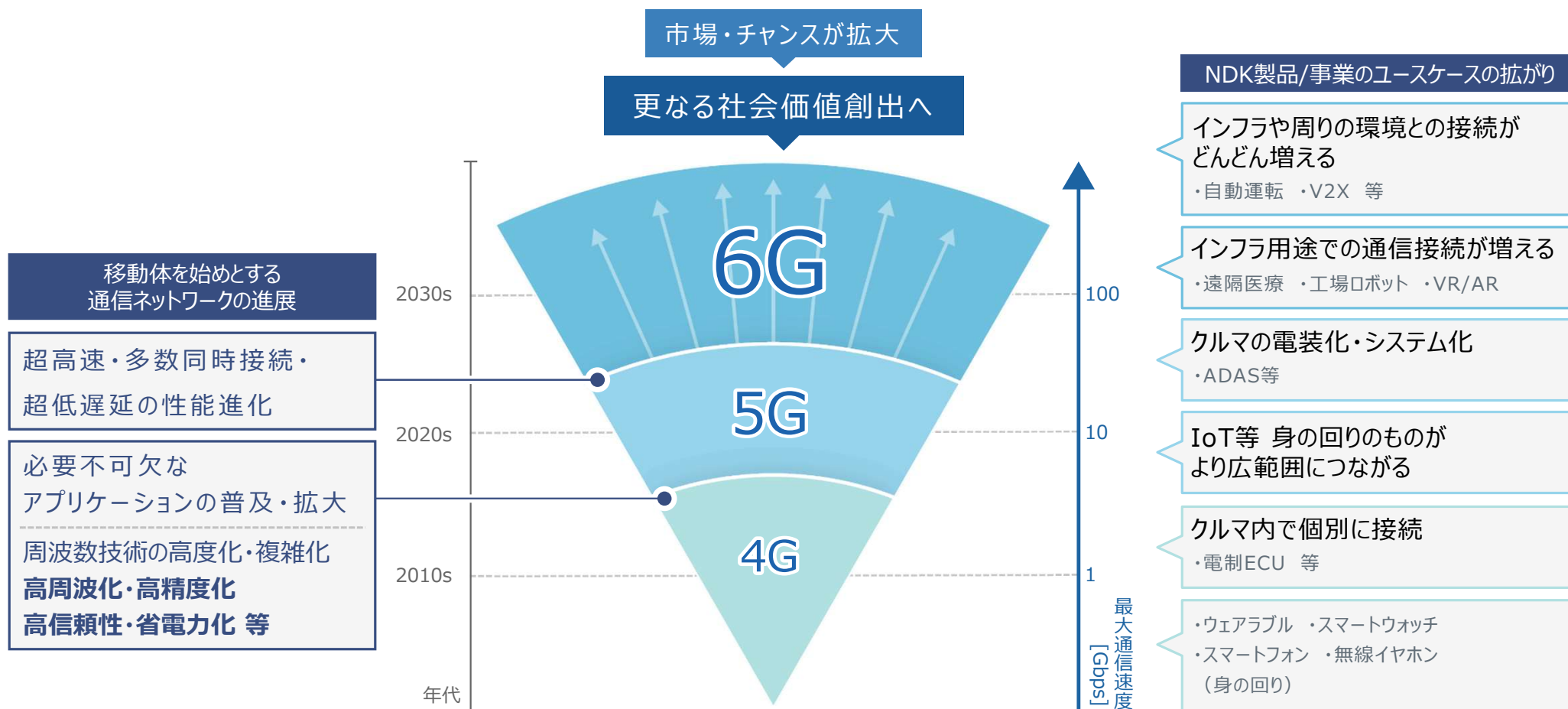
通信規格の変遷とNDK事業広がりの可能性



- 6Gのトップランナーとなるべく、中計期間中から事業展開の検討に着手

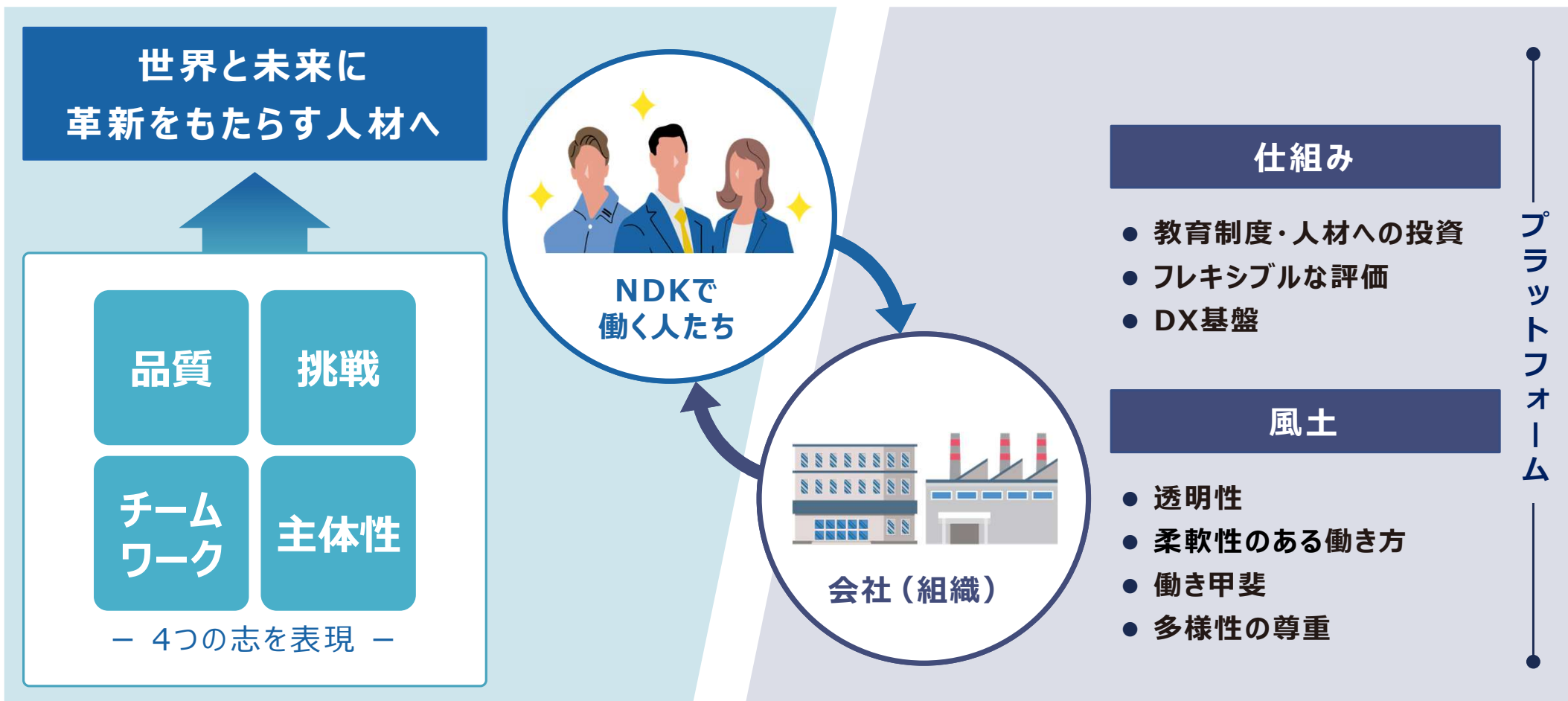
市場・チャンスが拡大

更なる社会価値創出へ



世界と未来に革新をもたらす 人材の育成

世界と未来に革新をもたらす人材を育成するNDK





Crystal Bridge to the Future